取扱説明書

制御モジュール

ＭＳ

ＭＳＳ

ＭＳ－Ａ

ＭＳ－ＡＧ

ＭＳ－ＡＴＣ

ＢＣ１

ＢＣ２

Copied digital data from https://www.endo-kogyo.co.jp/

⚠ 警告

- 人の昇降用として、エアバランサーは絶対に使用しないでください。
- この取扱説明書は使用者に必ずお渡しください。
- 使用する前に取扱説明書を必ずお読みください。
- この取扱説明書を大切に保管してください。

遠藤工業株式会社

ENDO

HM－１００８３ｕ

２０１９年３月発行

取扱説明書に関する著作権と責任
付属する取扱説明書の著作権は当社にあります。
取扱説明書は、本商品の安全な運用をサポートすることを目的に限定して提供されるものであり、この目的以外に使用することはできません。
当社から事前に許可を受けることなく、上記の目的以外に取扱説明書の全部または一部を、使用および複製することはできません。
また、取扱説明書の全部または一部を他の言語に翻訳したり、書き換えることも禁止されています。
なお取扱説明書に記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

遠藤工業株式会社

Copied digital data
from https://www.endo-kogyo.co.jp /

アラート・シンボル・マーク及び警告サインの適用について

この取扱説明書を注意深く読み、その指示に従ってください。
この取扱説明書において、アラート・シンボル・マーク（ ⚠ ）及び
警告サイン（「警告」、「注意」、「留意」）はそれぞれ次のような
特別の意味を表しています。

⚠

このアラート・シンボル・マークは、この装置の使用に伴い
あなたや他の人々に危険をおよぼすおそれのある事項や
操作について、あなたの注意を喚起しています。
このアラート・シンボル・マークの付いている指示を注意深く
読みその指示に必ず従ってください。

⚠ **警告** ：死亡または重傷事故の危険がある。

⚠ **注意** ：軽傷または中程度の傷害事故が発生する危険があるか、
または装置などの財物損傷のおそれがある。

留 意 ：装置の運転や保守時における留意事項を示す。

Copied digital data from https://www.endo-kogyo.co.jp/

目　次

１．仕様----------１
２．据え付け前の確認----------１
３．据え付け前の準備----------２
４．制御モジュールの取り付け----------３
　４．１　制御モジュール／ＭＳ・ＭＳＳの取り付け----------３
　４．２　制御モジュール／ＭＳ－Ａの取り付け----------５
　４．３　制御モジュール／ＭＳ－ＡＧの取り付け----------７
　４．４　制御モジュール／ＭＳ－ＡＴＣの取り付け----------１０
　４．５　制御モジュール／ＢＣ１の取り付け----------１４
　４．６　制御モジュール／ＢＣ２の取り付け----------１６
５．据え付け後の確認と試運転----------１９
６．給油----------１９
７．部品一覧表----------２０

Copied digital data
from https://www.endo-kogyo.co.jp/

1．仕様

制御モジュール

各制御モジュールは表中の丸印の本体に適合させることができます。

型式	質量	接続口径	エアバランサー適合型式						
	kg		EHB-50S	EHB-50	EHB-85	EHB-130	EHB-270	EHB-270CR	EHB-450CR
			EHB-50SC	EHB-50C	EHB-85C	EHB-130C	EHB-270C		
MS	2	Rc 3/8	○	○	○	○		○	
MSS	2	Rc 3/8					○		○
MS-A	3.5	Rc 3/8	○	○	○	○	○	○	○
MS-AG	6	Rc 3/8	○	○	○	○			
MS-ATC	6	Rc 3/8	○	○	○	○			
BC1	1	Rc 1/4	○	○	○	○		○	
BC2	4	Rc 3/8	○	○	○	○		○	

使用条件

・設置場所：一般屋内
・周囲温度：－5℃～＋50℃
・給気圧力：0.4MPa～0.7MPa

2．据え付け前の確認

- ご注文どおりのものが届いたか確認してください。製品の銘板をお確かめください。
- 本体が輸送中の事故などで変形・破損していないかどうか確認してください。
- 空気源の圧力とエアバランサーの作動圧力が合っているか確認してください。

Copied digital data from https://www.endo-kogyo.co.jp/

３．据え付け前の準備

各モジュールの据え付け前には、エアバランサー本体のエンドキャップに取り付けられている六角穴付テーパプラグ（Ｒｃ３／８）またはキャップ、及び六角穴付止めねじ（Ｍ６）を取り外す必要があります。下記に従い、本体型式とモジュールの組み合わせを確認の上、部品を取り外してください。

ＥＨＢ－５０Ｓ、ＥＨＢ－５０ＳＣ、ＥＨＢ－５０、ＥＨＢ－５０Ｃ

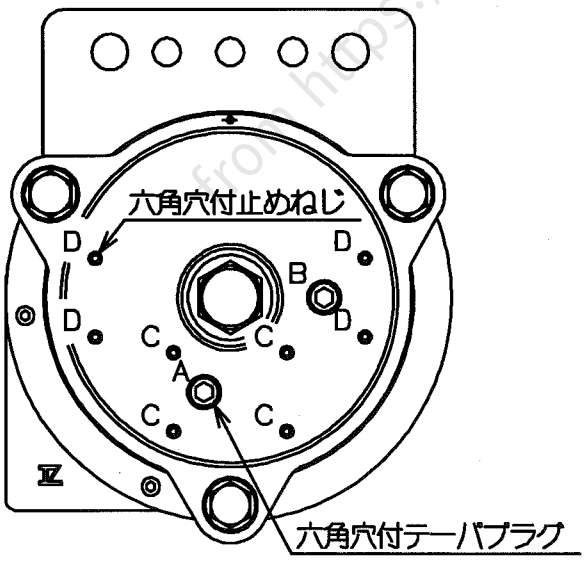
（１）制御モジュールがＭＳ、ＢＣ１の場合（図１）
　　Ａで示した六角穴付テーパプラグとＣで示した六角穴付止めねじを取り外してください。
（２）制御モジュールがＭＳ－Ａ、ＭＳ－ＡＧ、ＭＳ－ＡＴＣの場合
　　Ｂで示した六角穴付テーパプラグ、Ｄで示した六角穴付止めねじを取り外してください。
（３）制御モジュールがＢＣ２の場合
　　Ｂで示した六角穴付テーパプラグを取り外してください。

ＥＨＢ－８５、ＥＨＢ－８５Ｃ、ＥＨＢ－１３０、ＥＨＢ－１３０Ｃ、ＥＨＢ－２７０、ＥＨＢ－２７０Ｃ
ＥＨＢ－２７０ＣＲ、ＥＨＢ－４５０ＣＲ

（１）制御モジュールがＭＳ、ＭＳＳ、ＢＣ１の場合（図２）
　　ａで示したキャップと、ｂで示した六角穴付止めねじを取り外してください。
（２）制御モジュールがＭＳ－Ａ、ＭＳ－ＡＧ、ＭＳ－ＡＴＣの場合
　　ａで示したキャップと、ｃで示した六角穴付止めねじを取り外してください。
（３）制御モジュールがＢＣ２の場合
　　ａで示したキャップを取り外してください。

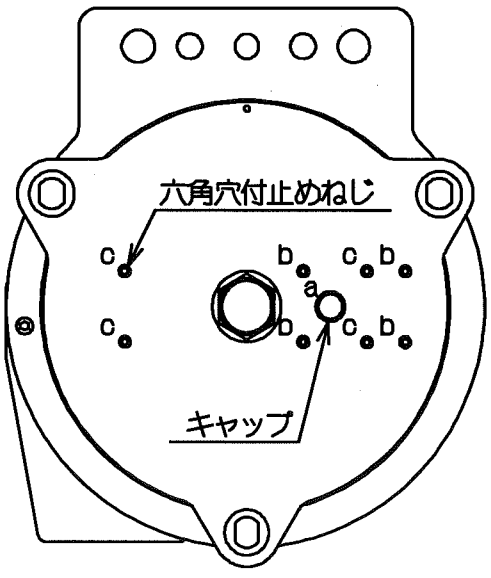
留意：六角穴付テーパプラグをはずした吸気口にはシール剤が付着している場合があります。エアバランサー内部に進入すると不具合の原因となりますので、きれいに取り除いてください。

Copied digital copy from https://www.endo-kogyo.co.jp/



EHB-50S. EHB-50
EHB-50SC. EHB-50C

図１



EHB-85. EHB-130. EHB-270
EHB-85C. EHB-130C. EHB-270C
EHB-270CR. EHB-450CR

図２

４．制御モジュールの取り付け

エアバランサーに制御モジュールを取り付ける際は、必ず次の手順に従って取り付けてください。
各制御モジュールに接続するエアホース及び継手は、給気口に接続する前に必ずエアブローを行って管路内に異物等がないことを確かめてください。
また、給気口に湿気がなく、異物（粉塵粒子）が含まれていない圧縮空気を供給してください。
（５μm以下のエアフィルタを使用し油分のないエアを使用してください。）

４．１　制御モジュール／ＭＳ・ＭＳＳの取り付け

４．１．１　本体への取り付け

（１）マニホールド(27)の裏面の凹部にＯリング(36)を入れます。
（２）同梱の４本のボルト(35)、平座金(33)、バネ座金(34)でマニホールド(27)を本体のエンドキャップに取り付けます。
留意:マニホールド(27)とエンドキャップ間の取り付け面にＯリング(36)のはみ出しや異物等が付着していないか確認してから取り付けてください。

４．１．２　運転調整

留意：上昇速度調整用のスクリュー(19)と下降速度調整用のスクリュー(18)は、出荷時において右一杯に閉めてあります。

スクリュー(18)および(19)をマイナスドライバーにて各々左回りに回転させ、１／６回転ずつ速度を確認しながら任意の速度に調整してください。
左に回すと、速度が速くなり、右に回すと遅くなります。
各スクリューは、手前のスナップリングに接触したらそれ以上左に回さないでください。
留意：空荷で上昇させる場合とつり荷を上昇させる場合では上昇速度が異なります。
つり荷を上昇させる速度を速くすると、空荷での上昇速度が速すぎて跳ね上がり防止装置が作動してしまう場合があります。
空荷の状態で速度調整を行い、跳ね上がり防止装置が作動しない速度に調整してご使用されることを推奨します。

４．１．３　跳ね上がり防止装置のリセット

※跳ね上がり防止装置が作動し、上下制御が出来ない場合は下記の操作を行ってリセットしてください。

（１）下降押ボタンスイッチ（Ｄ）を押し下げてワイヤロープを繰り出してください。
フックが下降しない場合は、下降押ボタンスイッチを押しながらフックを引き下げてください。
（２）スクリュー(18)および(19)をマイナスドライバーにて回転し任意の速度に調整してください。

４．１．４　操作方法

上昇させるときは、上昇押しボタンスイッチ（Ｕ）を押します。
下降させるときは、下降押しボタンスイッチ（Ｄ）を押します。
何れの場合においても可変式調整レバーですので押し加減により速度が変化します。
直接つり荷を手動で上下させられる範囲があります。（フローティング機能）
つり荷より手を離すと元の位置付近まで上昇および下降し、停止します。

⚠ 警 告

- 図３の左側のホース(25)および図４の左側のホース(39)に切断、破損、抜けが生じるとつり荷が急速落下してしまいます。
- ホースの損傷される恐れのある場所では使用しないでください。
  ホースの切断、破損、抜けにより、つり荷が落下した場合は内部の点検が必要です。
- 給気圧力が断たれた場合は、時間の経過に伴いつり荷はゆっくりと下降します。
  作業終了後、つり荷は必ず地上に降ろしてください。
- ワークが上限または下限に到達するまで押しボタンを押し続けないでください。

４．１．５　作業開始前の点検

⚠ 警　告

- 作業開始前の点検を必ず実施してください。
- 異常があったときは直ちに使用を中止し、適切な処置をしてから使用してください。
  異常のままでの使用は、人身事故につながり大変危険です。絶対に使用しないでください。

（１）押しボタンスイッチが正常に作動すること。
（２）エア漏れがないこと。
（３）ボルトに緩みがないこと。
（４）ホースに亀裂や摩耗等がないこと。

Copied digital data from https://www.endo-kogyo.co.jp/

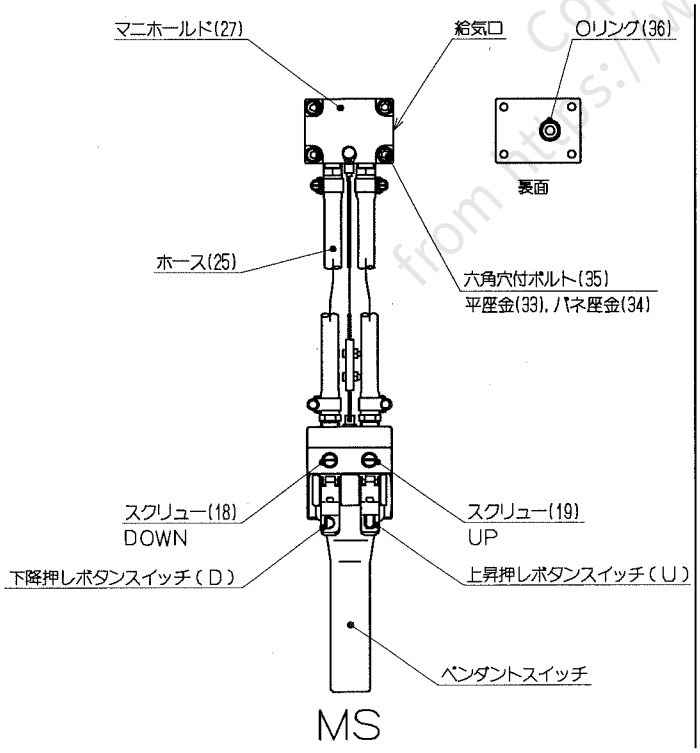


図３

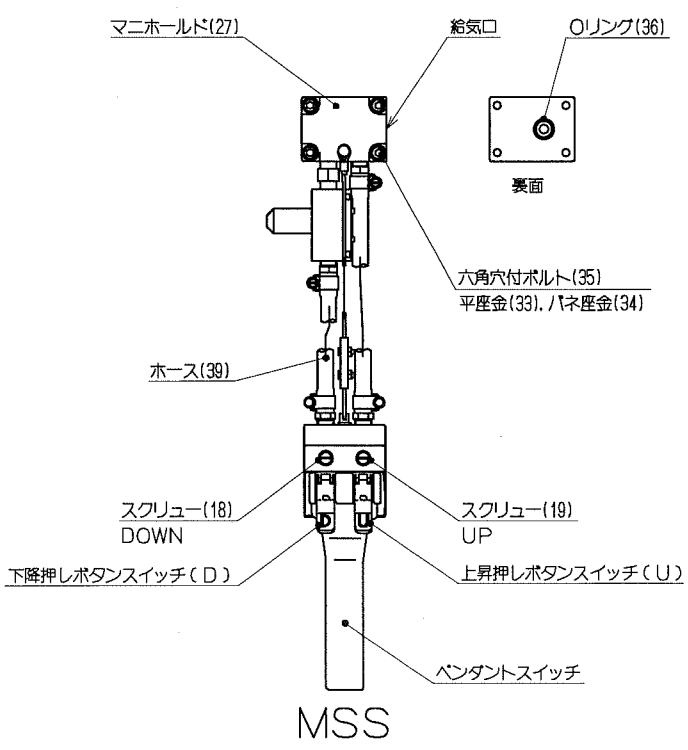


図４

４．２　制御モジュール／ＭＳ－Ａの取り付け

４．２．１　本体への取り付け

（１）エルボ(1)を本体の給気口に取り付けます。
（２）制御ボックスのカバー(27)をはずし、同梱の４本の六角穴付ボルト(26)、バネ座金(25)でケース(2)を本体のエンドキャップに取り付けます。
（３）エルボ(1)とエルボ(4)をチューブ(22)でつなぎます。
（４）ケース(2)にカバー(27)を十字穴付ナベ小ネジ(30)、平座金(28)、バネ座金(29)で取り付けます。

４．２．２　運転調整

留意：上昇速度調整および下降速度調整のスピードコントローラ(15)は、出荷時において右一杯に閉めてあります。

スピードコントローラ(15)のつまみを各々左回りに回転させ、１／６回転ずつ速度を確認しながら任意の速度に調整してください。左に回すと、上昇速度および下降速度が速くなり、右に回すと遅くなります。

留意：空荷で上昇させる場合とつり荷を上昇させる場合では上昇速度が異なります。
つり荷を上昇させる速度を速くすると、空荷での上昇速度が速すぎて跳ね上がり防止装置が作動してしまう場合があります。
空荷の状態で速度調整を行い、跳ね上がり防止装置が作動しない速度に調整してご使用されることを推奨します。

４．２．３　跳ね上がり防止装置のリセット

※跳ね上がり防止装置が作動し、上下制御が出来ない場合は下記の操作を行ってリセットしてください。

（１）下降押ボタンスイッチ（Ｄ）を押し下げてワイヤロープを繰り出してください。
それでもフックが下降しない場合は、下降押ボタンスイッチ（Ｄ）を押しながらフックを引き下げてください。
（２）スピードコントローラ(15)のつまみを徐々に回転させ任意の速度に調整してください。

４．２．４　操作方法

上昇させるときは、上昇押しボタンスイッチ（Ｕ）を押します。
下降させるときは、下降押しボタンスイッチ（Ｄ）を押します。
直接つり荷を手動で上下させられる範囲があります。（フローティング機能）
つり荷より手を離すと元の位置付近まで上昇および下降し、停止します。

⚠ 警 告

- **給気圧力が断たれた場合は、時間の経過に伴いつり荷はゆっくりと下降します。作業終了後、つり荷は必ず地上に降ろしてください。**
- **ワークが上限または下限に到達するまで押しボタンを押し続けないでください。**

Copied digital data from https://www.endo-kogyo.co.jp/

４．２．５　作業開始前の点検

⚠ 警　告

- **作業開始前の点検を必ず実施してください。**
- **異常があったときは直ちに使用を中止し、適切な処置をしてから使用してください。**
  異常のままでの使用は、人身事故につながり大変危険です。絶対に使用しないでください。

（１）押しボタンスイッチが正常に作動すること。
（２）エア漏れがないこと。
（３）ボルトに緩みがないこと。
（４）ホース(49)に亀裂や摩耗等がないこと。

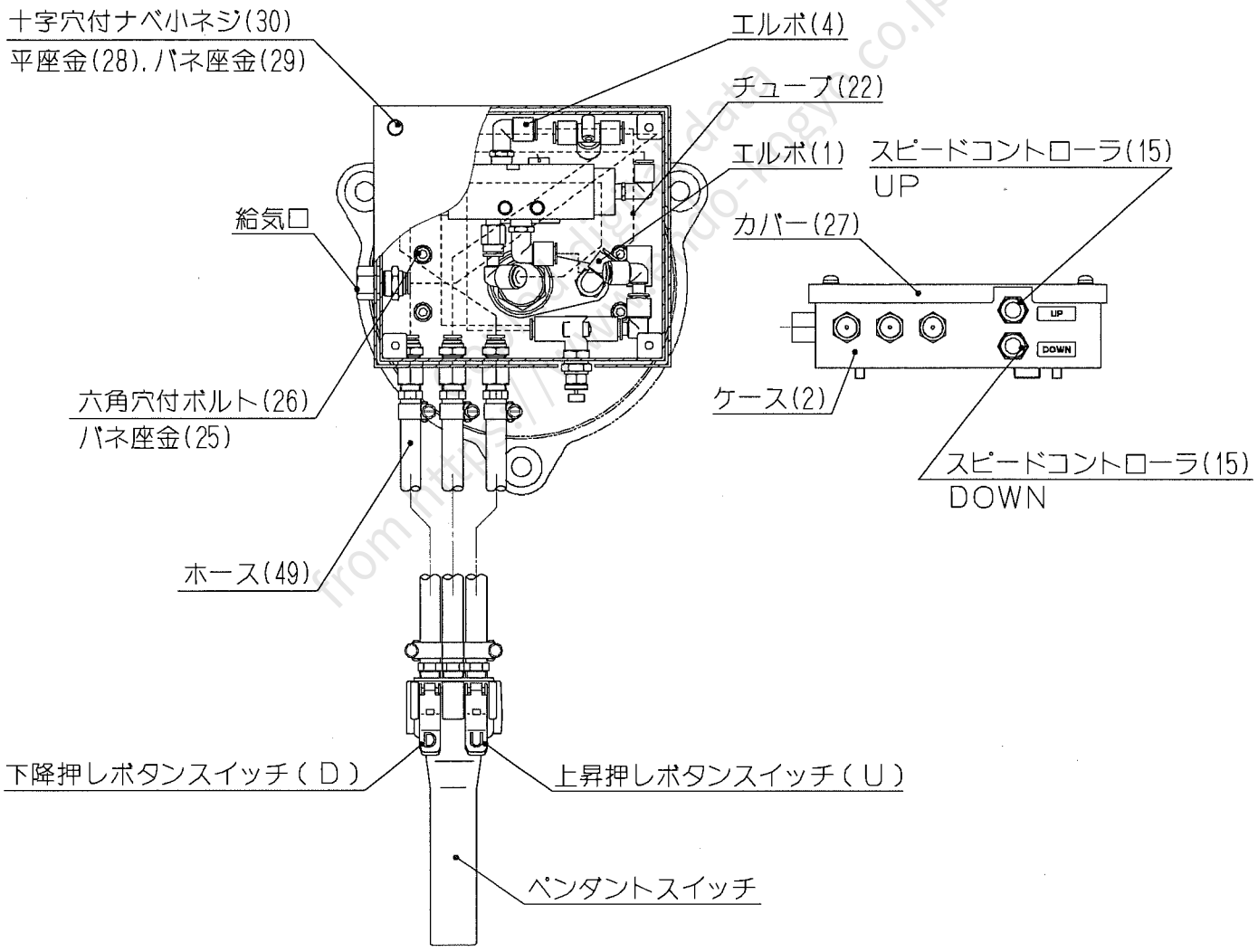


図５

４．３　制御モジュール／ＭＳ－ＡＧの取り付け

４．３．１　本体への取り付け

（１）エルボ(1)を本体の給気口に取り付けます。
（２）制御ボックスのカバー(27)をはずし、同梱の４本の六角穴付ボルト(26)、バネ座金(25)でケース(2)を本体のエンドキャップに取り付けます。
（３）エルボ(1)とエルボ(4)をチューブ(22)でつなぎます。
（４）ケース(2)にカバー(27)を十字穴付ナベ小ネジ(30)、平座金(28)、バネ座金(29)で取り付けます。

４．３．２　運転調整

留意：上昇速度調整および下降速度調整のスピードコントローラ(15)は、出荷時において右一杯に閉めてあります。

スピードコントローラ(15)のつまみを各々左回りに回転させ、１／６回転ずつ速度を確認しながら任意の速度に調整してください。左に回すと、上昇速度および下降速度が速くなり、右に回すと遅くなります。

留意：空荷で上昇させる場合とつり荷を上昇させる場合では上昇速度が異なります。
つり荷を上昇させる速度を速くすると、空荷での上昇速度が速すぎて跳ね上がり防止装置が作動してしまう場合があります。
空荷の状態で速度調整を行い、跳ね上がり防止装置が作動しない速度に調整してご使用されることを推奨します。

４．３．３　跳ね上がり防止装置のリセット

※跳ね上がり防止装置が作動し、上下制御が出来ない場合は下記の操作を行ってリセットしてください。

（１）操作グリップを下げてワイヤロープを繰り出してください。
それでもフックが下降しない場合は、操作グリップを下げながら下フックを引き下げてください。
（２）スピードコントローラ(15)のつまみを徐々に回転させ任意の速度に調整してください。

４．３．４　操作方法

上昇させるときは、操作グリップを上げます。
下降させるときは、操作グリップを下げます。
直接つり荷を手動で上下させられる範囲があります。（フローティング機能）
つり荷より手を離すと元の位置付近まで上昇および下降し、停止します。

⚠ 警 告

- **給気圧力が断たれた場合は、時間の経過に伴いつり荷はゆっくりと下降します。作業終了後、つり荷は必ず地上に降ろしてください。**
- **ワークが上限または下限に到達するまでグリップを操作し続けないでください。**

Copied digital data from https://www.endo-kogyo.co.jp/

４．３．５　作業開始前の点検

⚠ 警　告

- **作業開始前の点検を必ず実施してください。**
- **異常があったときは直ちに使用を中止し、適切な処置をしてから使用してください。**
  異常のままでの使用は、人身事故につながり大変危険です。絶対に使用しないでください。

（１）操作グリップが正常に作動すること。
（２）エア漏れがないこと。
（３）ボルトに緩みがないこと。
（４）コイルホースに亀裂や摩耗等がないこと。
（５）下フック、アイナット、スイベルジョイントに亀裂や摩耗等がないこと。

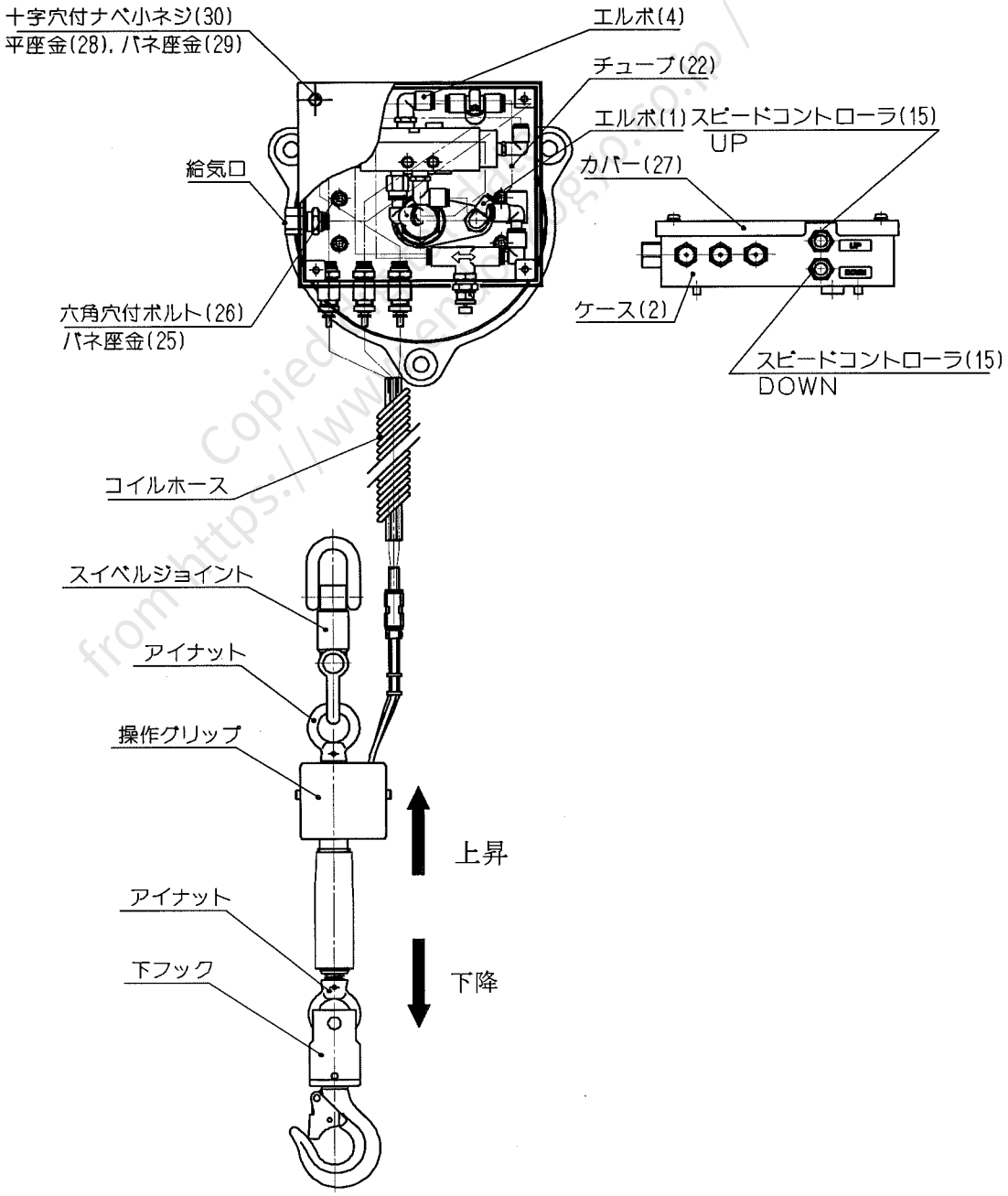


図６

４．３．６検査の方法

（1）下フック及びアイナットの検査と使用限度

⚠ 警　告

下フック及びアイナットは絶対に修理しないでください。引き伸ばされたり、摩耗や損傷しているときは、新しい下フック及びアイナットと交換してください。

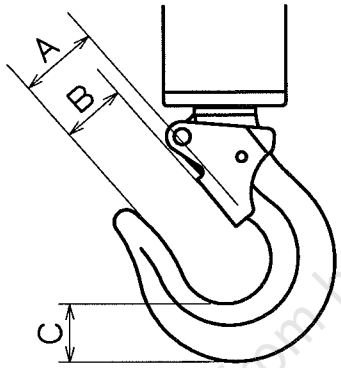
■ 下フックの口の開き、亀裂、摩耗の検査と使用限度

下フックの検査を行ったとき、次の状態が確認された場合は、絶対にそのまま使用せず交換してください。

- 目視で判定できる程度に、口の開きが引き伸ばされたもの、指定寸法と異なるもの。
- 変形したり、亀裂の入ったもの。
  特に、フックの首（シャンク）部の曲がりや、亀裂に注意してください。
- つり具と接触する部分の摩耗量が、使用限度を超えているもの。
- 外れ止め金具が損傷したり、正常に働かないもの。
- 下フックは円滑に回転するか。円滑に回転しないもの（手で回すとゴロゴロする）は使用限度です。

■ 下フックの口の開き寸法と摩耗量の限度

フックの口の開き寸法Ａ、Ｂは、正確には、お手元の現品をあらかじめ実測記録し、検査基準の値として活用するようにしてください。



下フック使用限度　　(mm)

	基準寸法	使用限度
A	26.0	基準値を超えないこと
B	21.0	基準値を超えないこと
C	19.0	16.9

Copied digital data from https://www.endo-kogyo.co.jp/

■ アイナットの変形・亀裂・摩耗の検査と使用限度

アイナットの検査を行ったとき、次の状態が確認された場合は、絶対にそのまま使用せず交換してください。

- 目視で判定できる程度に、引き伸ばされたもの。
- 変形したり、亀裂の入ったもの。
- つり具と接触する部分が摩耗しているもの。

４．４　制御モジュール／ＭＳ－ＡＴＣの取り付け

４．４．１　エアバランサー本体の組み替え

（１）エアバランサー本体の上２カ所のキャップ付Ｕナットを緩め、下１カ所のキャップ付Ｕナットを外してください。（図７）
（２）下部のボルトを給気側のハンガー中央まで引出し、中央のパイプを外してください。
（３）ＭＳ－ＡＴＣに同梱されているホルダをパイプの代わりに設置してください。（図８）
（４）再度ボルトを差し込み、はずしたキャップ付Ｕナットと、緩めたキャップ付Ｕナットを取り付けます。

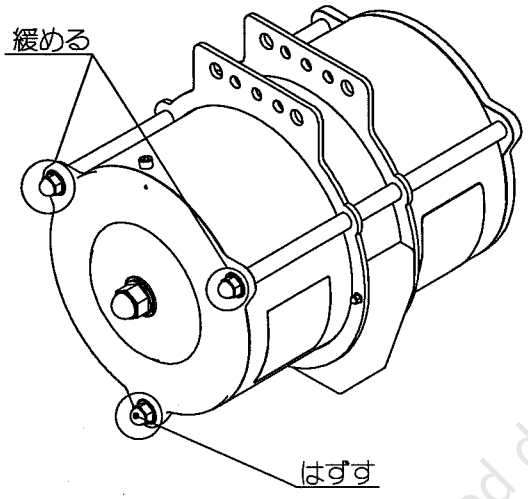


図７

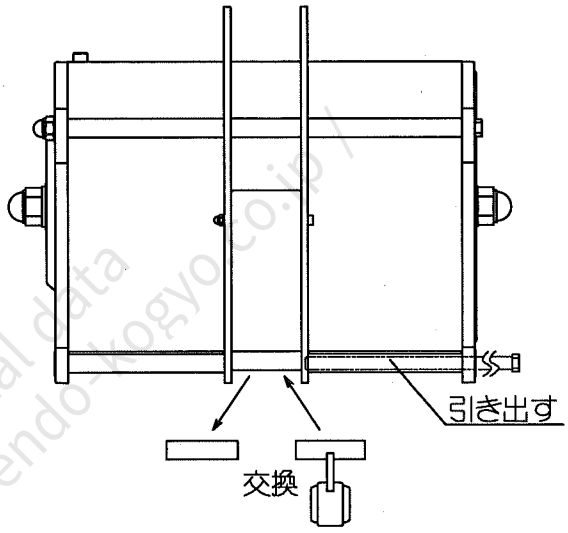


図８

Copied digital data
https://www.endo-kogyo.co.jp/

４．４．２本体への取り付け

（１）エルボ(1)を本体の給気口に取り付けます。
（２）制御ボックスのカバー(27)をはずし、同梱の４本の六角穴付ボルト(26)、バネ座金(25)でケース(2)を本体のエンドキャップに取り付けます。
（３）エルボ(1)とエルボ(4)をチューブ(22)でつなぎます。
（４）ケース(2)にカバー(27)を十字穴付ナベ小ネジ(30)、平座金(28)、バネ座金(29)で取り付けます。
（５）コイルチューブ(38)をホルダに通し、エルボ(33)に差し込みます。

４．４．３　運転調整

留意：上昇速度調整および下降速度調整のスピードコントローラ(15)は、出荷時において右一杯に閉めてあります。

スピードコントローラ(15)のつまみを各々左回りに回転し任意の速度に調整してください。
左に回すと、上昇速度および下降速度が速くなり、右に回すと遅くなります。

留意：空荷で上昇させる場合とつり荷を上昇させる場合では上昇速度が異なります。
つり荷を上昇させる速度を速くすると、空荷での上昇速度が速すぎて跳ね上がり防止装置が作動してしまう場合があります。
空荷の状態で速度調整を行い、跳ね上がり防止装置が作動しない速度に調整してご使用されることを推奨します。

４．４．４　跳ね上がり防止装置のリセット

※跳ね上がり防止装置が作動し、上下制御が出来ない場合は下記の操作を行ってリセットしてください。

（１）ハンドルの下降押しボタンスイッチ（↓）を押し下げてワイヤロープを繰り出してください。それでもフックが下降しない場合は、下降押しボタンスイッチ（↓）を押しながらハンドルを引き下げてください。
（２）スピードコントローラ(15)のつまみを回転し任意の速度に調整してください。

４．４．５　操作方法

上昇させるときは、上昇押しボタンスイッチ（↑）を押します。
下降させるときは、下降押しボタンスイッチ（↓）を押します。
直接つり荷を手動で上下させられる範囲があります。（フローティング機能）
つり荷より手を離すと元の位置付近まで上昇および下降し、停止します。

⚠ 警 告

給気圧力が断たれた場合は、時間の経過に伴いつり荷はゆっくりと下降します。
作業終了後、つり荷は必ず地上に降ろしてください。

from https://www.ando-koyo.co.jp / Digital data

４．４．６　作業開始前の点検

⚠ 警　告

- **作業開始前の点検を必ず実施してください。**
- **異常があったときは直ちに使用を中止し、適切な処置をしてから使用してください。**
  異常のままでの使用は、人身事故につながり大変危険です。絶対に使用しないでください。

（１）押しボタンスイッチが正常に作動すること。
（２）エア漏れがないこと。
（３）ボルトに緩みがないこと。
（４）コイルホースに亀裂や摩耗等がないこと。
（５）下フック、アイナットに亀裂や摩耗等がないこと。

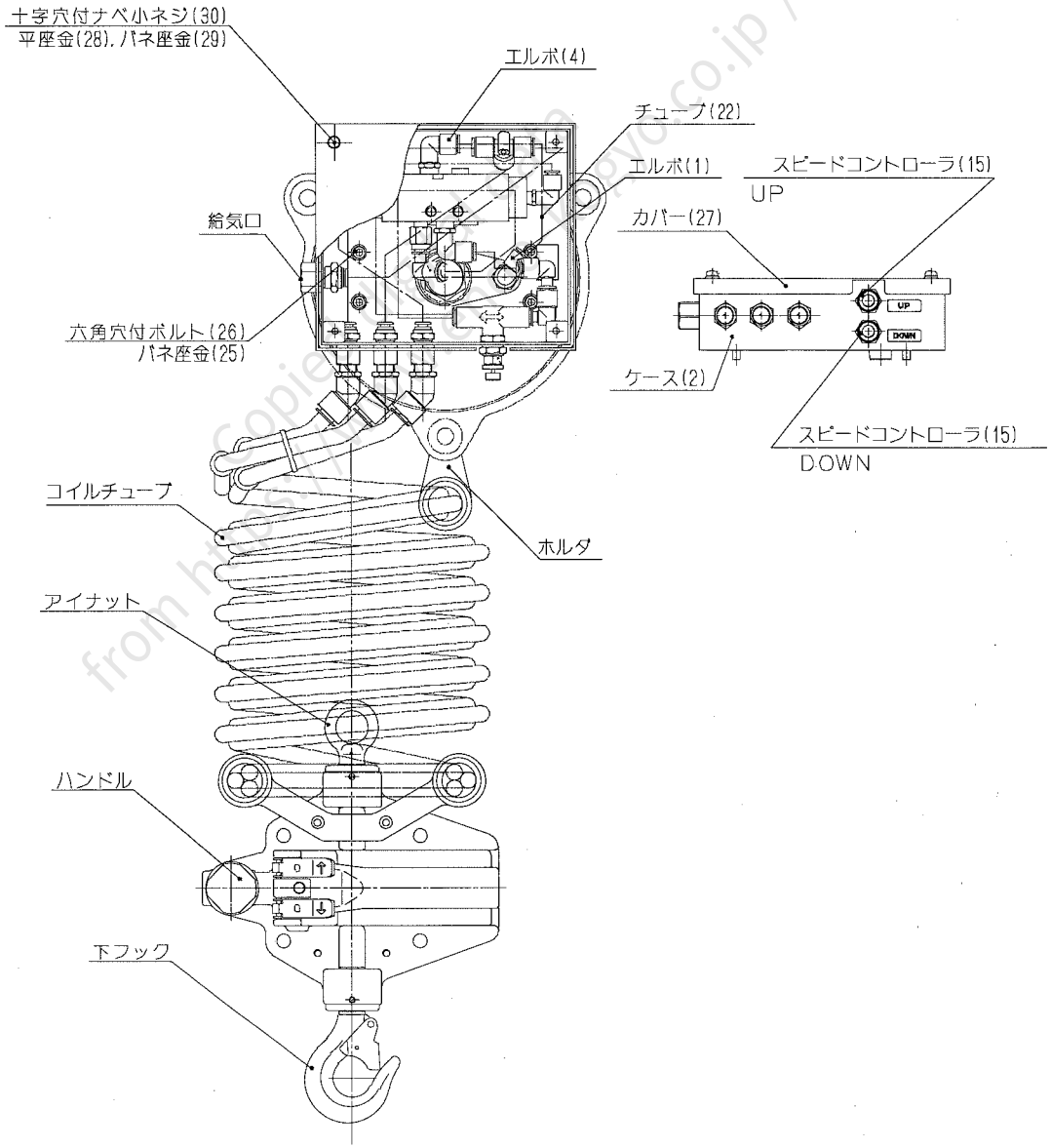


図９

４．４．６検査の方法

（1）下フック及びアイナットの検査と使用限度

> **⚠ 警　告**
>
> **下フック及びアイナットは絶対に修理しないでください。引き伸ばされたり、摩耗や損傷しているときは、新しい下フック及びアイナットと交換してください。**

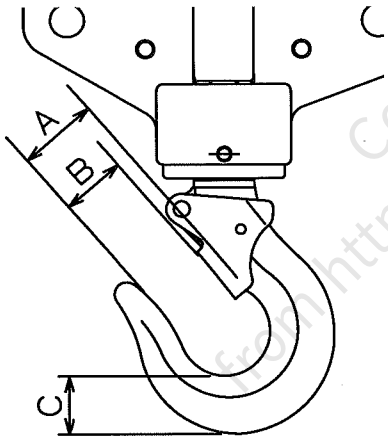
■ 下フックの口の開き、亀裂、摩耗の検査と使用限度

下フックの検査を行ったとき、次の状態が確認された場合は、絶対にそのまま使用せず交換してください。

- 目視で判定できる程度に、口の開きが引き伸ばされたもの、指定寸法と異なるもの。
- 変形したり、亀裂の入ったもの。
  特に、フックの首（シャンク）部の曲がりや、亀裂に注意してください。
- つり具と接触する部分の摩耗量が、使用限度を超えているもの。
- 外れ止め金具が損傷したり、正常に働かないもの。
- 下フックは円滑に回転するか。円滑に回転しないもの（手で回すとゴロゴロする）は使用限度です。

■ 下フックの口の開き寸法と摩耗量の限度

フックの口の開き寸法Ａ、Ｂは、正確には、お手元の現品をあらかじめ実測記録し、検査基準の値として活用するようにしてください。



下フック使用限度　　(mm)

	基準寸法	使用限度
A	26.0	基準値を超えないこと
B	21.0	基準値を超えないこと
C	19.0	16.9

■ アイナットの変形・亀裂・摩耗の検査と使用限度

アイナットの検査を行ったとき、次の状態が確認された場合は、絶対にそのまま使用せず交換してください。

- 目視で判定できる程度に、引き伸ばされたもの。
- 変形したり、亀裂の入ったもの。
- つり具と接触する部分が摩耗しているもの。

Copied digital data from https://www.endo-kogyo.co.jp/

４．４．７　下フック・アイナットの交換

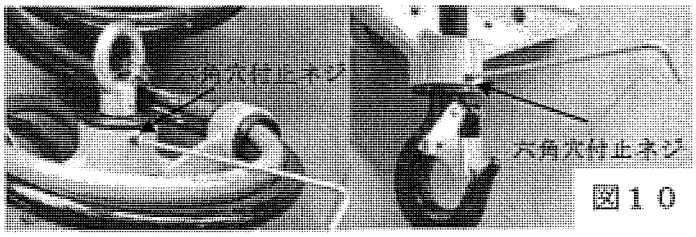


図１０

（１）六角止めネジ(67)を外します。(図１０参照)

（２）ホルダ(66)・フックホルダ(74)を反時計回りへ回して外します。

（３）新しい下フック・アイナットをホルダ(66)・フックホルダ(74)へ取付けてください。

（４）ホルダ(66)・フックホルダ(74)をハンドル(40)へ取付け、六角止めネジ(67)で固定してください。

４．５．８　アイナットのシンブルの交換

シンブル(54)の口を開いて取り外し、新しいアイナットへ取付けてください。最後にシンブル(54)の口を閉じてください。(図１１参照)

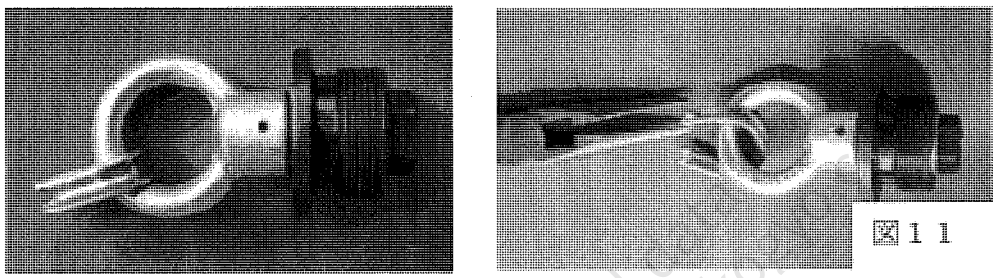


図１１

Copied digital data from https://www.endo-kogyo.co.jp

４．５　制御モジュール／ＢＣ１の取り付け

４．５．１本体への取り付け

（１）マニホールド(1)の裏面の凹部にＯリング(8)を取り付けます。
（２）同梱の４本の六角穴付ボルト(5)、平座金(7)、バネ座金(6)でＢＣ１を本体のエンドキャップに取り付けます。

留意：マニホールド(1)とエンドキャップ間の取り付け面にＯリング(8)のはみ出しや異物等が付着していないか確認してから取り付けてください。

４．５．２　運転調整

留意：バランス調整つまみは、出荷時において左一杯に緩めてあります。

（１）バランスを調節する前に、つり荷に下フックを掛けてください。
（２）つり荷が上昇を始めるまでバランス調節つまみをゆっくり右に回します。
つり荷をバランスさせるために、手で荷を上下動させながらつまみを調整します。
（３）下フックの掛け外しを行う場合は、つり荷を地上に降ろしバランス調整つまみを左一杯に緩めれば可能となります。

４．５．３　跳ね上がり防止装置のリセット

※跳ね上がり防止装置が作動し、上下制御が出来ない場合は下記の操作を行ってリセットしてください。

（１）下フックが下がり始めるまでバランス調節つまみを左回りにゆっくり回してください。
それでもフックが下降しない場合は、手でフックを引き下げてください。
（２）これで装置はリセットされますが、バランス状態を元に戻すには 「４．５．２運転調整」の項の通りに行ってください。

⚠ 警　告

給気圧力が断たれた場合は、時間の経過に伴いつり荷はゆっくりと下降します。
作業終了後、つり荷は必ず地上に降ろしてください。

４．５．４　作業開始前の点検

⚠ 警　告

- **作業開始前の点検を必ず実施してください。**
- **異常があったときは直ちに使用を中止し、適切な処置をしてから使用してください。**
異常のままでの使用は、人身事故につながり大変危険です。絶対に使用しないでください。

Copied digital data from https://www.elpa-kogyo.co.jp/

（１）バランス調整つまみが正常に作動すること。
（２）エア漏れがないこと。
（３）各部品に緩みがないこと。

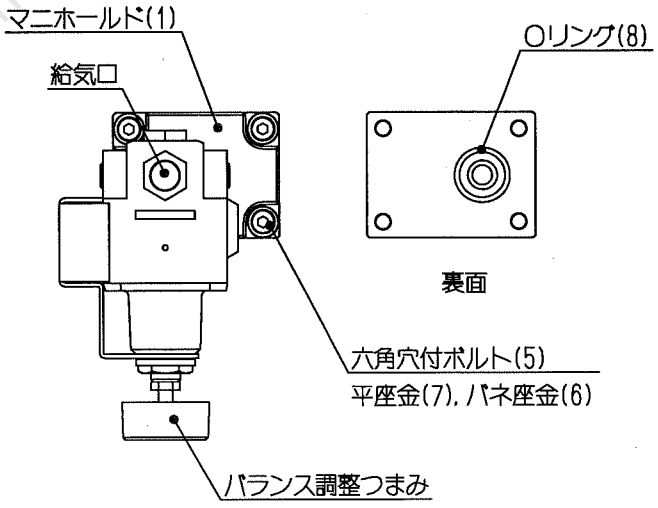


図１２

４．６　制御モジュール／ＢＣ２の取り付け

４．６．１　本体への取り付け

（１）本体ハンガー(12)の外側にブラケット(37)をはめ、取り付け穴を図１３のように合わせます。
（２）ハンガーの間にパイプ(64)を挿入し、六角ボルト(62)を通します。
　　六角ボルトは、六角ナット(65)とUナット(66)により確実に止めてください。
（３）アダプタ(42)を本体給気口に接続します。

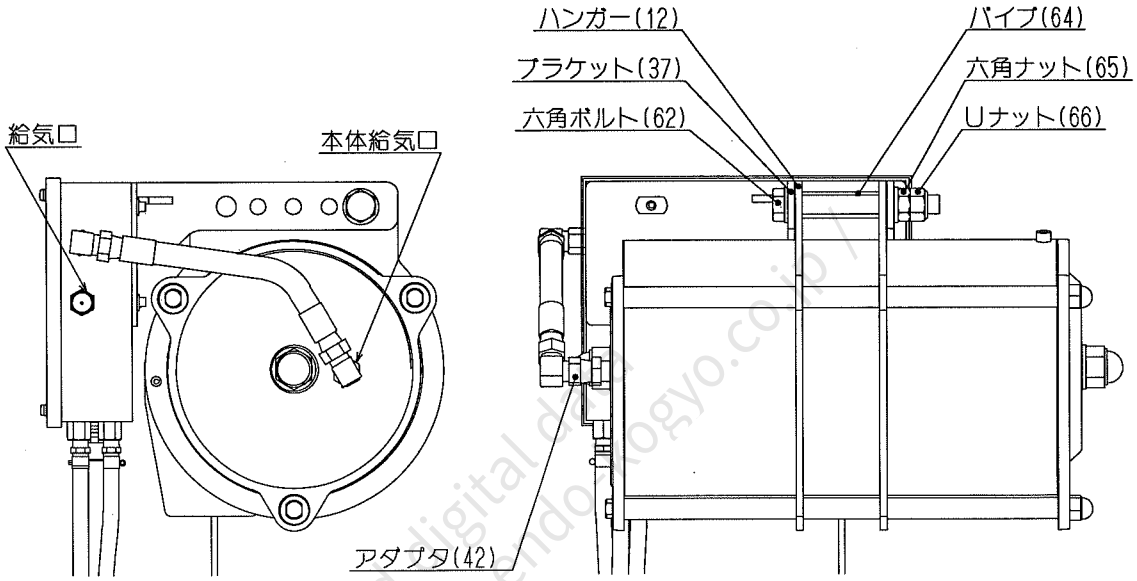


図１３

Copied digital data from https://www.endo-togyo.co.jp/

４．６．２　運転調整

留意：バランス調整つまみの「ＨＩＧＨ」と「ＬＯＷ」は出荷時において左一杯に緩めてあります。

（１）バランスを調節する前に、つり荷に下フックを掛けてください。
（２）ペンダントスイッチの「ＳＥＬＥＣＴ」ボタンを押しながら「ＬＯＷ」ボタンを押して、ＬＯＷモードに切り替えます。
（３）つり荷が上昇を始めるまで「ＬＯＷ」の調整つまみをゆっくり右に回します。
　　つり荷をバランスさせるために、手で荷を上下動させながらつまみを調整します。
（４）つり荷を手で下降させ、着地させます。
（５）ペンダントスイッチの「ＳＥＬＥＣＴ」ボタンを押しながら「ＨＩＧＨ」ボタンを押して、ＨＩＧＨモードに切り替えます。
（６）先にバランスさせたつり荷に、次のつり荷を加えます。
　　この組み合わされたつり荷が上昇を始めるまで「ＨＩＧＨ」の調整つまみをゆっくり右に回します。
　　つり荷をバランスさせるために、手でつり荷を上下動させながらつまみを調整します。
（７）下フックの掛け外しを行う場合は、つり荷を地上に降ろしＬＯＷモードに切り替えてから、「ＬＯＷ」の調整つまみを左一杯に緩めれば可能となります。
（８）ＬＯＷモードおよびＨＩＧＨモードの各状態において、本体内に供給している圧力を圧力計で読みとることができます。
　　バランス調整時の目安としてご使用ください。

４．６．３　跳ね上がり防止装置のリセット

※跳ね上がり防止装置が作動し、上下制御が出来ない場合は下記の操作を行ってリセットしてください。

（１）下フックが下がり始めるまでバランス調整つまみを左回りにゆっくり回してください。
それでもフックが下降しない場合は、手でフックを引き下げてください。
（２）これで装置はリセットされますが、バランス状態を元に戻すには 「４．６．２運転調整」の項の通りに行ってください。

４．６．４　操作方法

（１）つり荷を下フックに掛けた状態で、ペンダントスイッチの「ＳＥＬＥＣＴ」ボタンを押しながら「ＬＯＷ」ボタンを押します。
（２）つり荷を手で支えて上下動させ、任意の位置で停止しバランスさせます。
（３）つり荷を手で下降させ、着地させます。
（４）先にバランスさせたつり荷に、次のつり荷を加えます。
（５）ペンダントスイッチの「ＳＥＬＥＣＴ」ボタンを押しながら「ＨＩＧＨ」ボタンを押します。
（６）つり荷を手で支えて上下動させ、任意の位置で停止しバランスさせます。
（７）つり荷を手で下降させ、着地させます。
（８）ペンダントスイッチの「ＳＥＬＥＣＴ」ボタンを押しながら「ＬＯＷ」ボタンを押して、後に加えたつり荷を取り外します。

Copied digital data
http://www.endo-kogyo.co.jp/

⚠ 警　告

- **ペンダントスイッチはバランス制御の「ＨＩＧＨ」と「ＬＯＷ」の切り換え用で、昇降用としては使用しないでください。**
- **ＨＩＧＨモードで使用中につり荷を下げる場合は、必ずＨＩＧＨモードの状態で手でつり荷を押しさげて着地させてからＬＯＷモードに切り換えてください。**
  ＨＩＧＨモードの状態でペンダントスイッチの「ＳＥＬＥＣＴ」ボタンを押しながら「ＬＯＷ」ボタンを押しＬＯＷに切り換えると、つり荷が急速落下し人身事故につながり大変危険です。
- **ＬＯＷモードの状態でペンダントスイッチの「ＳＥＬＥＣＴ」ボタンを押しながら「ＨＩＧＨ」に切り換えると、ワイヤロープが急速上昇し人身事故につながり大変危険です。**
- **給気圧力が断たれた場合は、時間の経過に伴いつり荷はゆっくりと下降します。**
  作業終了後、つり荷は必ず地上に降ろしてください。

４．６．５　作業開始前の点検

⚠ 警　告

- **作業開始前の点検を必ず実施してください。**
- **異常があったときは直ちに使用を中止し、適切な処置をしてから使用してください。**
  異常のままでの使用は、人身事故につながり大変危険です。絶対に使用しないでください。

（１）バランス調整つまみが正常に作動すること。
（２）押しボタンスイッチが正常に作動すること。
（３）エア漏れがないこと。
（４）各部品に緩みがないこと。
（５）ホース(44)に亀裂や摩耗等がないこと。

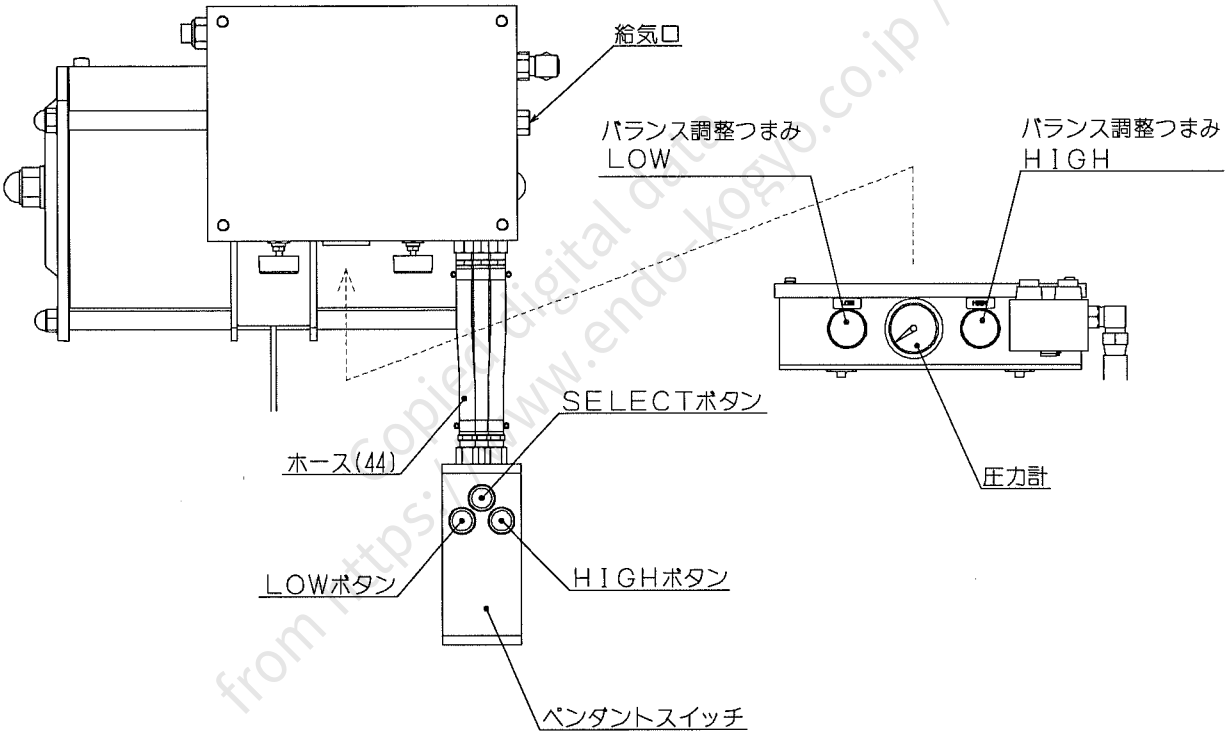


図１４

Copied digital data from https://www.endo-kogyo.co.jp/

5．据え付け後の確認と試運転

5．1　巻上げ動作の確認

- 作動圧力が0.7MPa {7kgf/cm^2} 以上にならないようにしてください。
- 押しボタンの表示と、動作が正しいことを確認してください。

5．2　跳ね上がり防止装置の確認

⚠ 警　告

跳ね上がり防止装置とボールストッパーはエアバランサーを止める手段として使用しないでください。
それらは下フックの跳ね上げを防止するための非常用です。
もし頻繁にボールストッパーを使用すると、ワイヤロープが損傷し、つり荷が落下する原因となりたいへん危険です。

出荷時は、上昇および下降速度調整用のスクリューまたはスピードコントローラのつまみを右一杯に締め込んであります。
また、バランス調整つまみは左一杯に緩めてあります。
速度の調整およびバランス調整については、「運転調整」に従って調整してください。
無負荷にて跳ね上げ操作を行い、跳ね上がり防止装置が働いてバランサーが停止することを確認してください。
又、装置を解除するには下降押しボタンを押し下げて、またはバランス調整つまみを左一杯に緩めてワイヤロープを繰り出してください。
それでもフックが下降しない場合は、下降押しボタンを押しながら、またはバランス調整つまみを左一杯に緩めてフックを引き下げてください。
これで装置はリセットされます。

Copied digital data from https://www.ehde-kogyo.co.jp/

6．給油

分解点検時、摺動するＯリングには、ＮＬＧＩ（National Lubrication Grease Institute）分類№2相当のリチウム石けん基　シリコングリースを塗布してください。

7．部品一覧表

部品を購入されるときのお願い

- 部品番号、部品名称、および製品の型式を指定してください。
- ＳＥＲ．Ｎｏ．（製品番号）のわかるものは明記してください。
- 部品番号のない部品は、個々に供給することはできません。
  セット、または１式でご購入ください。

■部品表のみかた

	照合番号	部品番号	個 数	部品名称
	－	LHP001963	1	ハンドル部 1式
	－	LHP000851	1	ーハンドル 1式
	1	P2H100058	1	ーーハンドル
	2	LHP000145	1	ーープッシュボタンセット
	3	KA42410325	4	ーースプリングピン
	4	P2H400296	1	ーーサイレンサ
	5	P2H400297	1	ーーサポート
	6	P2H400298	1	ーーカラー
	7	KA42410206	2	ーースプリングピン
●	8	KA50200090	1	ーOリング

このマークがセット部品、または
部品１式の範囲を示します。

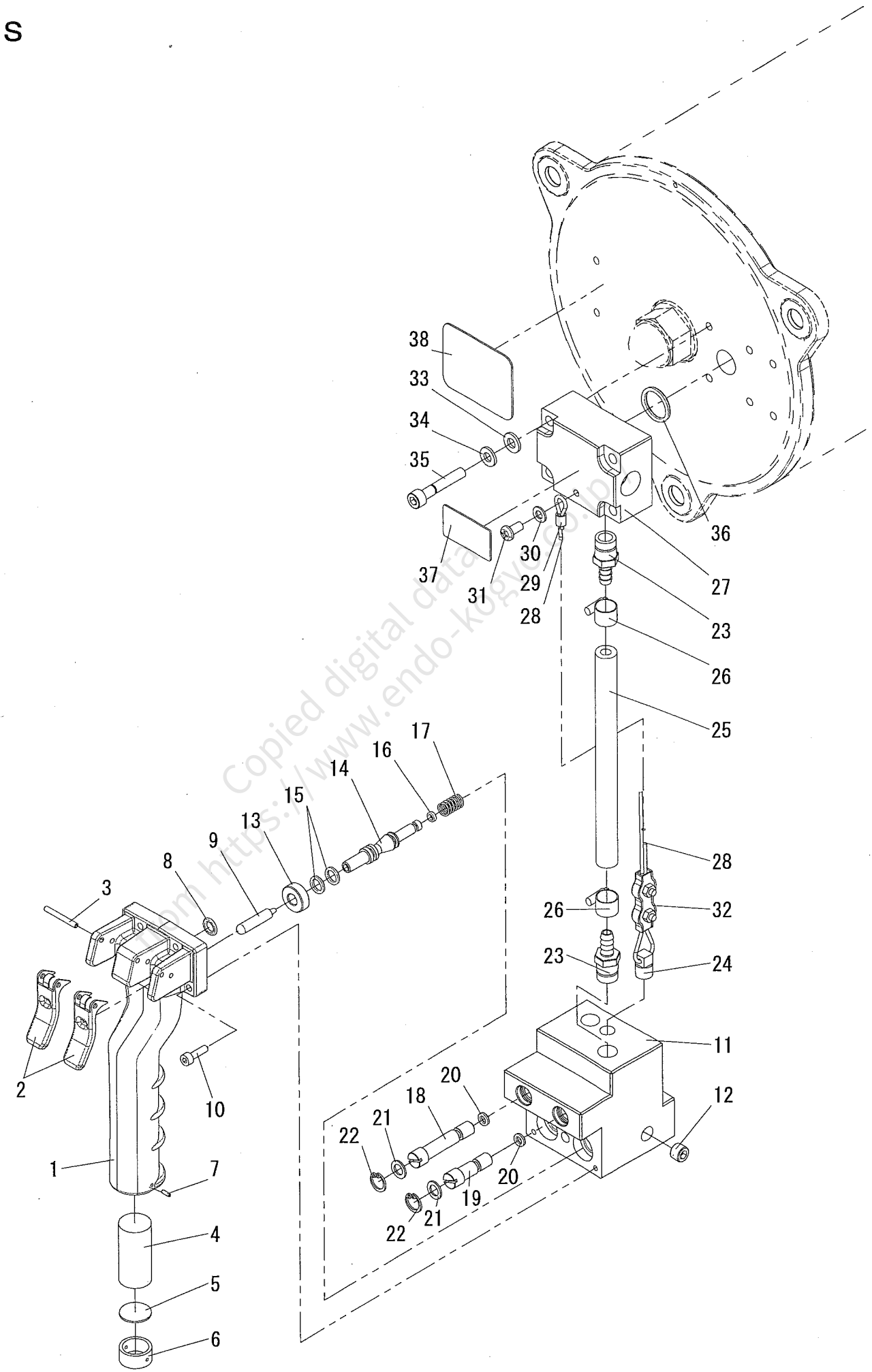
Copied digital data from https://www.engo-kogyo.co.jp/

■部品表　ＭＳ

照合番号	部品番号	個数	部品名称	照合番号	部品番号	個数	部品名称
－	LHP001963	1	ハンドル部　1式	31	KA10120510	1	十字穴付ナベ小ネジ
－	LHP000851	1	ーハンドル　1式	32	P2H402440	1	クリップ
1	P2H100058	1	ーーハンドル	33	KA30220600	4	平座金
2	LHP000145	1	ーープッシュボタンセット	34	KA31120600	4	バネ座金
3	KA42410325	4	ーースプリングピン	35	KA00910635	4	六角穴付ボルト
4	P2H400296	1	ーーサイレンサ	● 36	KA50100180	1	Oリング
5	P2H400297	1	ーーサポート	37	P2H301220	1	ネームプレート
6	P2H400298	1	ーーカラー	38	P2H301150	1	警告ラベル
7	KA42410206	2	ーースプリングピン				
● 8	KA50200090	1	ーOリング				
9	P2H400307	2	ーピン				
10	P2H400957	4	ー六角穴付ボルト				
11	P2H100080	1	ーバルブボデー				
12	P2H400007	3	ー六角穴付テーパプラグ				
13	P2H401220	2	ースペーサ				
14	P2H301146	2	ースプール				
● 15	KA50110060	4	ーOリング				
● 16	KA50200040	2	ーOリング				
17	P2H400293	2	ースプリング				
18	P2H402370	1	ースクリュー				
19	P2H402371	1	ースクリュー				
● 20	KA50100050	2	ーOリング				
21	P2B400352	2	ーワッシャ				
22	KA40210012	2	ー穴用C形止メ輪				
23	P1R400322	2	ーホースニップル				
24	P2H400954	1	ープラグ				
25	P2H402372	2	ホース				
26	KA86100120	4	ホースクリップ				
27	P2H301147	1	マニホールド				
23	P1R400322	2	ホースニップル				
－	LHP001964	1	ワイヤロープ　1式				
28	―	1	ーワイヤロープ				
29	―	1	ーロック管				
30	KA30220500	1	平座金				

● 印のついている部品は、消耗品を示します。
部品番号のない部品は、個々に供給することはできません。

from https://www.endo-kogyo.co.jp/ copied digital data



Copied digital data from https://www.endo-kogyo.co.jp

YHM000637c

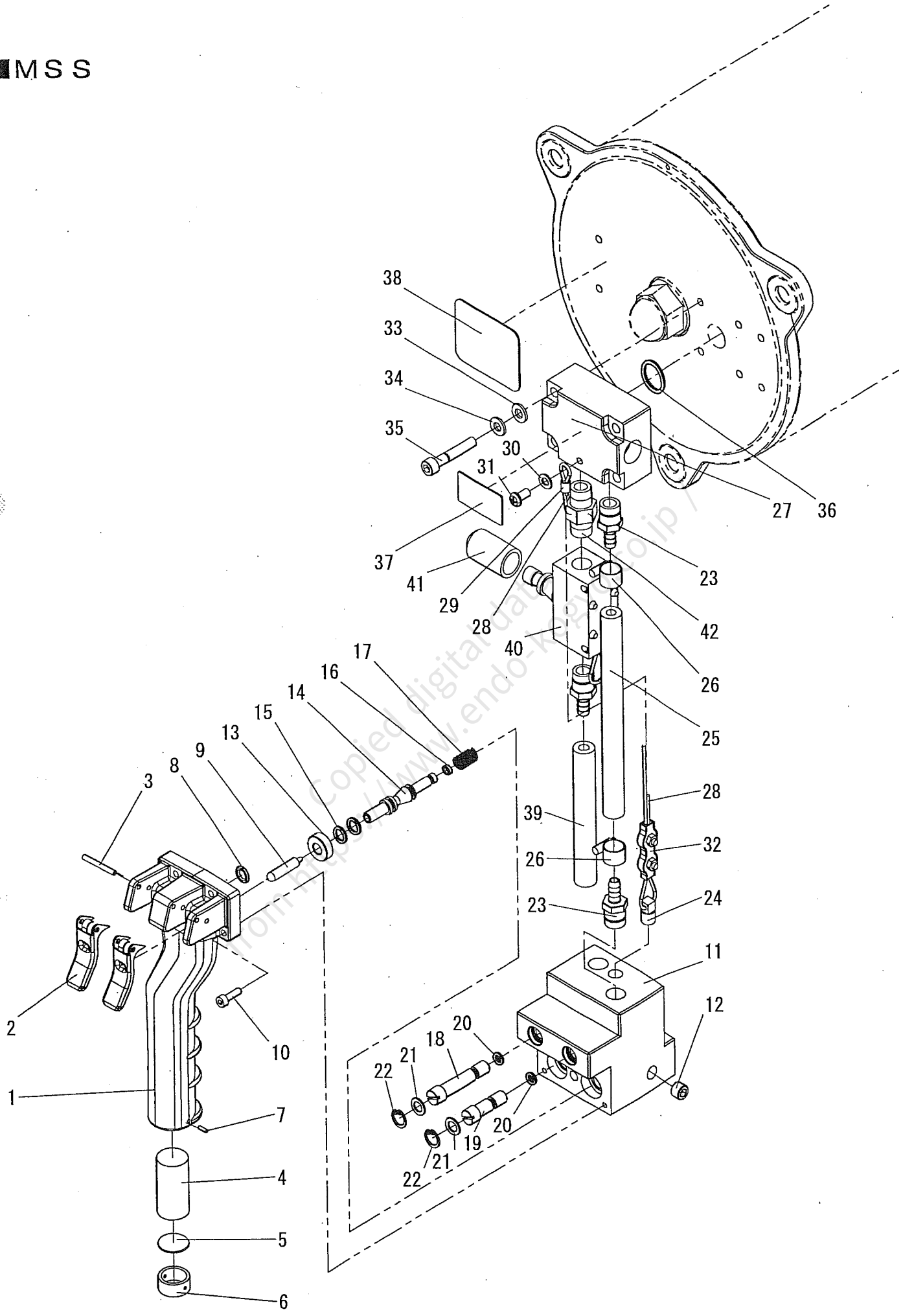
■部品表　ＭＳＳ

照合番号	部品番号	個数	部品名称	照合番号	部品番号	個数	部品名称
－	LHP001963	1	ハンドル部　1式	－	LHP001964	1	ワイヤロープ　1式
－	LHP000851	1	－ハンドル　1式	28	－	1	－ワイヤロープ
1	P2H100058	1	－－ハンドル	29	－	1	－ロック管
2	LHP000145	1	－－プッシュボタンセット	30	KA30220500	1	平座金
3	KA42410325	4	－－スプリングピン	31	KA10120510	1	十字穴付ナベ小ネジ
4	P2H400296	1	－－サイレンサ	32	P2H402440	1	クリップ
5	P2H400297	1	－－サポート	33	KA30220600	4	平座金
6	P2H400298	1	－－カラー	34	KA31120600	4	バネ座金
7	KA42410206	2	－－スプリングピン	35	KA00910635	4	六角穴付ボルト
● 8	KA50200090	1	－Oリング	● 36	KA50100180	1	Oリング
9	P2H400307	2	－ピン	37	P2H301220	1	ネームプレート
10	P2H400957	4	－六角穴付ボルト	38	P2H301150	1	警告ラベル
11	P2H100080	1	－バルブボデー				
12	P2H400007	3	－六角穴付テーパプラグ				
13	P2H401220	2	－スペーサ				
14	P2H301146	2	－スプール				
● 15	KA50110060	4	－Oリング				
● 16	KA50200040	2	－Oリング				
17	P2H400293	2	－スプリング				
18	P2H402370	1	－スクリュー				
19	P2H402371	1	－スクリュー				
● 20	KA50100050	2	－Oリング				
21	P2B400352	2	－ワッシャ				
22	KA40210012	2	－穴用C形止メ輪				
23	P1R400322	2	－ホースニップル				
24	P2H400954	1	－プラグ				
25	P2H402372	1	ホース				
39	P2H402966	1	ホース				
－	LHP002421	1	スピードコントローラ1式				
40	－	1	－スピードコントローラ				
41	－	1	－キャップ				
42	P2H402543	1	ニップル				
26	KA86100120	4	ホースクリップ				
27	P2H301147	1	マニホールド				
23	P1R400322	2	ホースニップル				

● 印のついている部品は、消耗品を示します。
部品番号のない部品は、個々に供給することはできません。

free copied digital data https://www.endo-kogyo.co.jp/

■MSS



Copied digital data from http://www.endo-kogyo.co.jp /

YHM000808

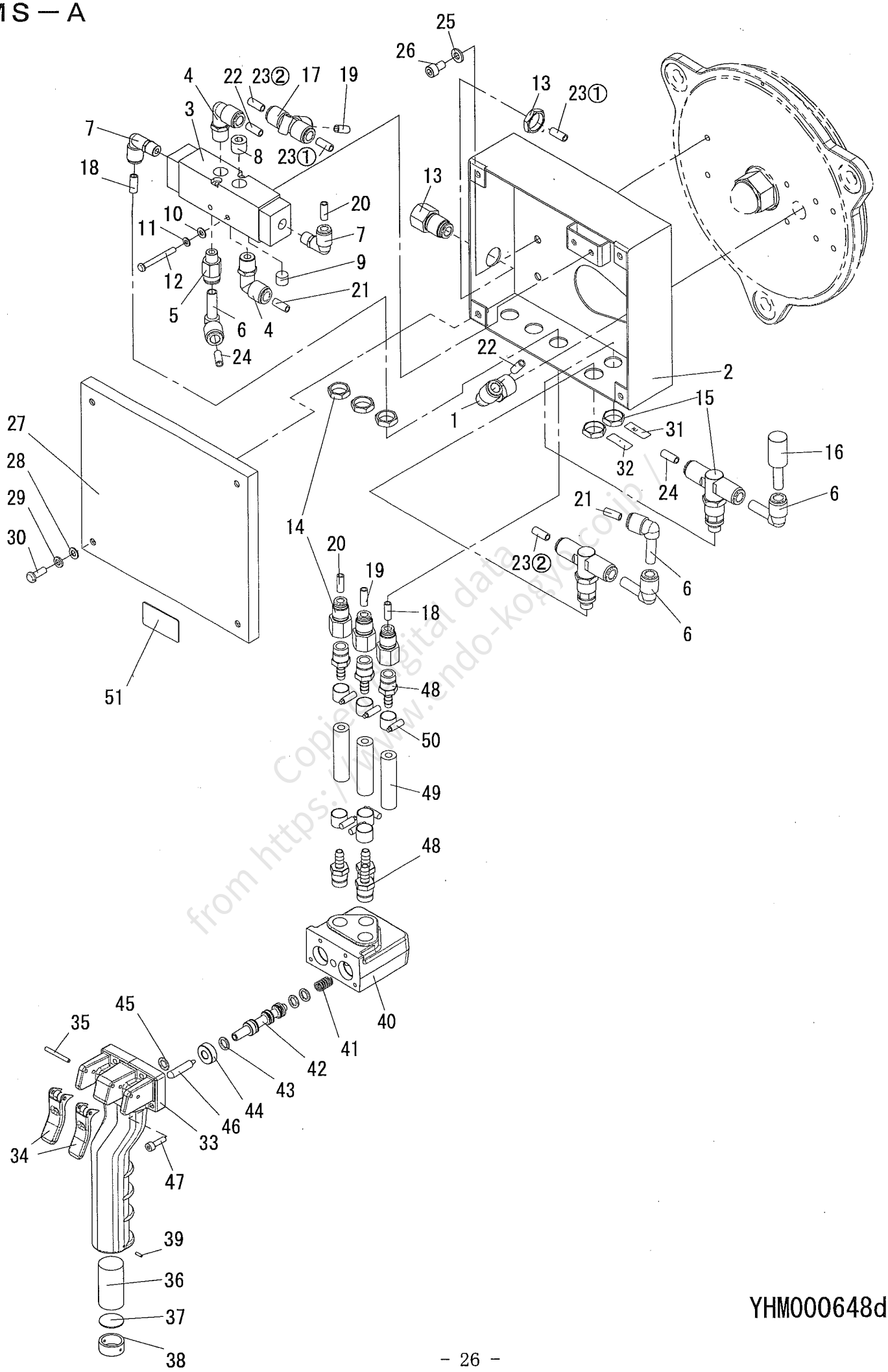
■部品表　ＭＳ－Ａ

照合番号	部品番号	個数	部品名称	照合番号	部品番号	個数	部品名称
—	LHP001939	1	制御ボックス	—	LHP001941	1	ハンドル部　1式
1	P2H402407	1	－エルボ	—	LHP000851	1	－ハンドル　1式
2	LHP001940	1	－ケース	33	P2H100058	1	－－ハンドル
3	P2H301170	1	－オペレートバルブ	34	LHP000145	1	－－プッシュボタンセット
4	P2H402406	2	－エルボ	35	KA42410325	4	－－スプリングピン
5	P2H402409	1	－ユニオン	36	P2H400296	1	－－サイレンサ
6	P2H402408	4	－エルボ	37	P2H400297	1	－－サポート
7	P2H402405	2	－エルボ	38	P2H400298	1	－－カラー
8	P2B400179	1	－六角穴付テーパプラグ	39	KA42410206	2	－－スプリングピン
9	P2H400007	1	－六角穴付テーパプラグ	40	P2H200193	1	－バルブボデー
10	KA30220400	2	－平座金	41	P2H400293	2	－スプリング
11	KA31120400	2	－バネ座金	42	P2H300170	2	－スプール
12	KA10120435	2	－十字穴付ナベ小ネジ	● 43	KA50110080	6	－Oリング
13	P2H402411	1	－ユニオン	44	P2H401220	2	－スペーサ
14	P2H402410	3	－ユニオン	● 45	KA50200090	1	－Oリング
15	P2H402412	2	－スピードコントローラ	46	P2H400307	2	－ピン
16	P2H402404	1	－サイレンサ	47	P2H400957	4	－六角穴付ボルト
17	P2H402403	1	－T	48	P1R400322	3	－ホースニップル
18	P2H402415	1	－チューブ	48	P1R400322	3	ホースニップル
19	P2H402416	1	－チューブ	49	P2H402372	3	ホース
20	P2H402417	1	－チューブ	50	KA86100120	6	ホースクリップ
21	P2H402418	1	－チューブ	51	P2H301221	1	ネームプレート
22	P2H402419	1	－チューブ				
23	P2H402421	2	－チューブ				
24	P2H402422	1	－チューブ				
25	KA31120600	4	－バネ座金				
26	KA00910610	4	－六角穴付ボルト				
27	P2H301172	1	－カバー				
28	KA30220500	4	－平座金				
29	KA31120500	4	－バネ座金				
30	KA10120514	4	－十字穴付ナベ小ネジ				
31	P2H402428	1	－ラベル(DOWN)				
32	P2H402429	1	－ラベル(UP)				

● 印のついている部品は、消耗品を示します。

Copied digital data from https://www.endo-kogyo.co.jp/

■MS－A



Copied digital data from https://www.kondo-koyo.co.jp/

YHM000648d

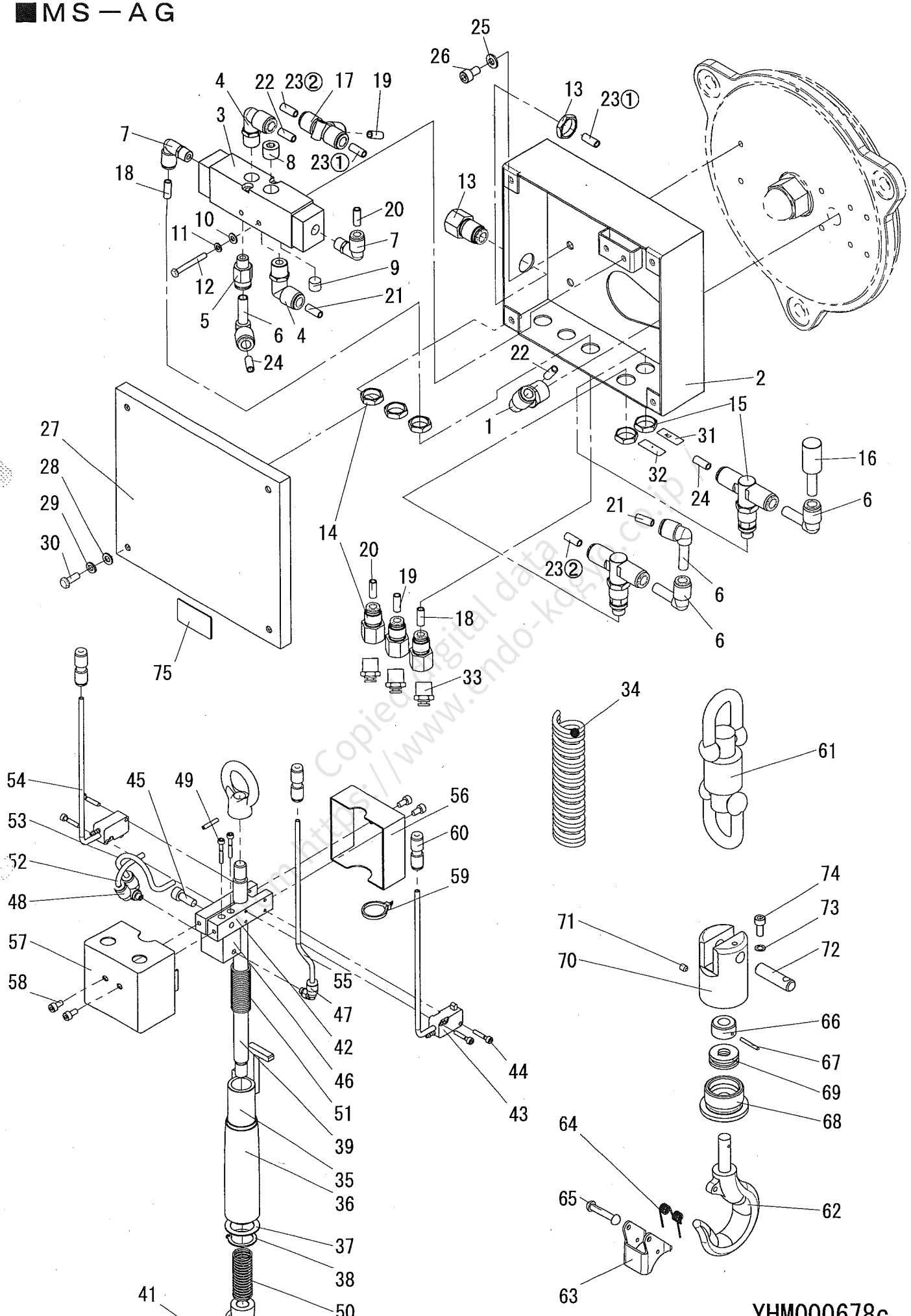
■部品表　ＭＳ－ＡＧ

照合番号	部品番号	個数	部品名称	照合番号	部品番号	個数	部品名称
－	LHP001939	1	制御ボックス	39	－	1	－－シャフト
1	P2H402407	1	－エルボ	40	－	2	－－アイナット
2	LHP001940	1	－ケース	41	－	2	－－スプリングピン
3	P2H301170	1	－オペレートバルブ	42	P2H301257	1	－プレート
4	P2H402406	2	－エルボ	43	P2H402585	2	－メカニカルバルブ
5	P2H402409	1	－ユニオン	44	KA00910316	4	－六角穴付ボルト
6	P2H402408	4	－エルボ	45	KA00910616	1	－六角穴付ボルト
7	P2H402405	2	－エルボ	46	P2H402586	1	－マニホールド
8	P2B400179	1	－六角穴付テーパプラグ	47	P2H402587	1	－エルボ
9	P2H400007	1	－六角穴付テーパプラグ	48	P2H402588	1	－エルボ
10	KA30220400	2	－平座金	49	KA0910320	2	－六角穴付ボルト
11	KA31120400	2	－バネ座金	50	P2H402589	1	－スプリング
12	KA10120435	2	－十字穴付ナベ小ネジ	51	P2H402590	1	－スプリング
13	P2H402411	1	－ユニオン	52	P2H402591	1	－チューブ
14	P2H402410	3	－ユニオン	53	P2H402592	1	－チューブ
15	P2H402412	2	－スピードコントローラ	54	P2H402593	2	－チューブ
16	P2H402404	1	－サイレンサ	55	P2H402594	1	－チューブ
17	P2H402403	1	－T	56	P2H402595	1	－カバー
18	P2H402415	1	－チューブ	57	P2H301258	1	－カバー
19	P2H402416	1	－チューブ	58	KA00910408	4	－六角穴付ボルト
20	P2H402417	1	－チューブ	59	P2H402597	5	－結束バンド
21	P2H402418	1	－チューブ	60	P2H402596	3	－ストレート
22	P2H402419	1	－チューブ	※ 61	P2H400792	1	スイベル
23	P2H402421	2	－チューブ	－	LHP000844	1	回転フック1式
24	P2H402422	1	－チューブ	－	LHP000843	1	－フック1式
25	KA31120600	4	－バネ座金	62	－	1	－－フック
26	KA00910610	4	－六角穴付ボルト	● －	LHP001674	1	－－外レ止メ1式
27	P2H301172	1	－カバー	63	－	1	－－－外レ止メ
28	KA30220500	4	－平座金	64	－	1	－－－スプリング
29	KA31120500	4	－バネ座金	65	－	1	－－－丸リベット
30	KA10120514	4	－十字穴付ナベ小ネジ	66	－	1	－－ナット
31	P2H402428	1	－ラベル(DOWN)	67	KA42419820	1	－－スプリングピン
32	P2H402429	1	－ラベル(UP)	68	P2H401216	1	－フックホルダ
33	P2H402515	3	ユニオン	69	KA60401000	1	－スラストベアリング
34	P2H402540	1	スパイラルチューブ	70	P2H300665	1	－フックホルダ
－	LHP002111	1	グリップスイッチ	71	KA16510506	1	－六角穴付止ネジ
35	LHP002110	1	－グリップ	72	P2H401218	1	－ピン
36	P2H402584	1	－グリップ	73	KA32410520	1	－CD座金
37	P2H402880	1	－ワッシャ	74	KA00910512	1	－六角穴付ボルト
38	KA40110020	1	－軸用C形止メ輪	75	P2H301224	1	ネームプレート
－	LHP002185	1	－シャフト1式				

● 印のついている部品は、消耗品を示します。
部品番号のない部品は、個々に供給することはできません。
※印の部品は本体がチェーンタイプの場合には使用しません。

from Copied digital data https://www.enon-corp.co.jp/

■MS－AG



YHM000678c

Copied digital data from https://www.endo-kogyo.co.jp

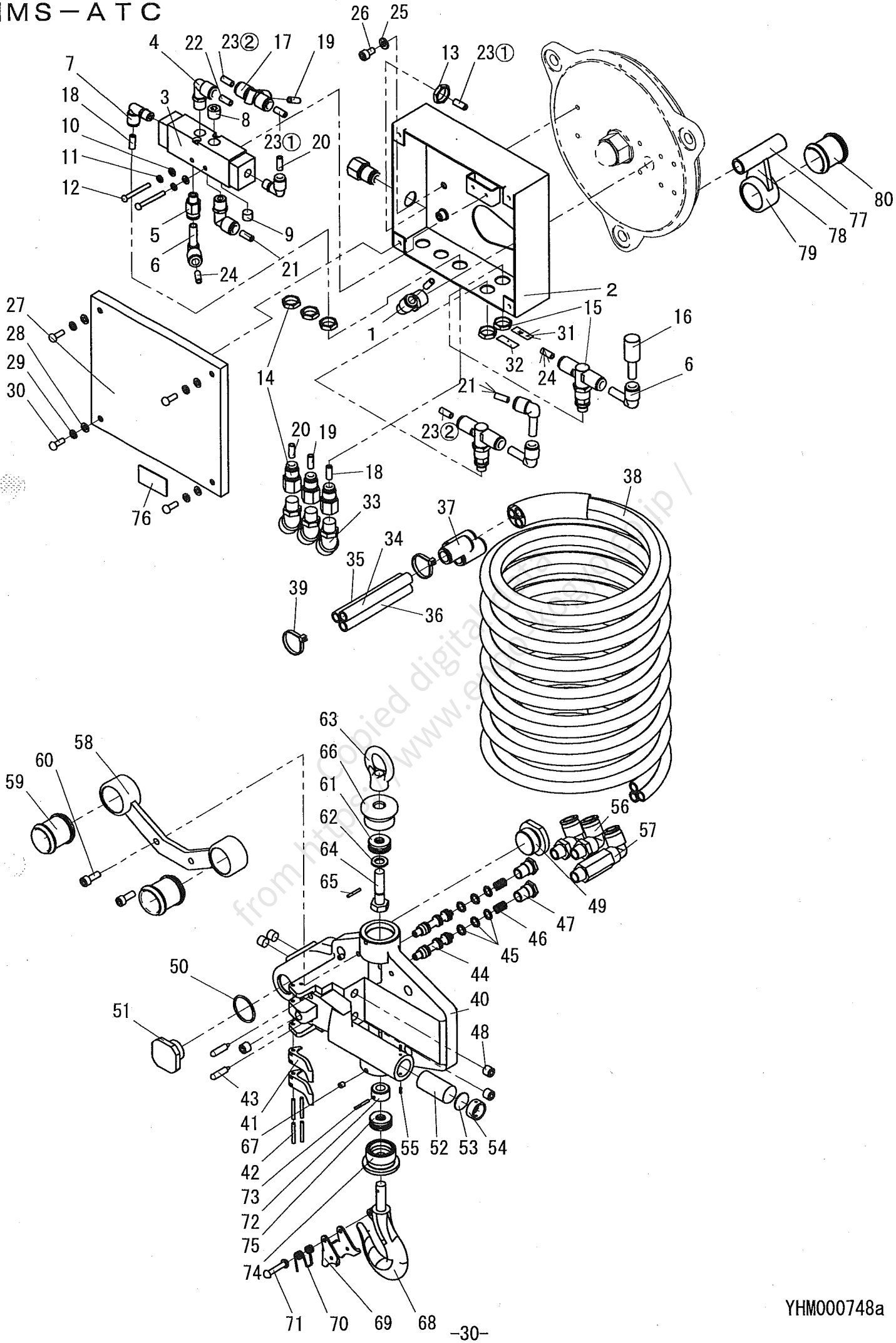
■部品表　ＭＳ－ＡＴＣ

照合番号	部品番号	個数	部品名称	照合番号	部品番号	個数	部品名称
—	LHP001939	1	制御ボックス	42	KA42410325	4	ーースプリングピン
1	P2H402407	1	ーエルボ	43	P2H402043	2	ーーピン
2	LHP001940	1	ーケース	44	P2H300972	2	ーースプール
3	P2H301170	1	ーオペレートバルブ	45	KA50110080	6	ーーOリング
4	P2H402406	2	ーエルボ	46	P2H400293	2	ーースプリング
5	P2H402409	1	ーユニオン	47	P2H402042	2	ーーキャップ
6	P2H402408	4	ーエルボ	48	P2H400007	7	ーープラグ
7	P2H402405	2	ーエルボ	49	P2H402056	1	ーープラグ
8	P2B400179	1	ー六角穴付テーパプラグ	50	KA50200280	1	ーーOリング
9	P2H400007	1	ー六角穴付テーパプラグ	51	P2H402051	1	ーーキャップ
10	KA30220400	2	ー平座金	52	P2H400296	1	ーーサイレンサ
11	KA31120400	2	ーバネ座金	53	P2H400297	1	ーーサポート
12	KA10120435	2	ー十字穴付ナベ小ネジ	54	P2H400298	1	ーーカラー
13	P2H402411	1	ーユニオン	55	KA42410206	2	ーースプリングピン
14	P2H402410	3	ーユニオン	56	P2H402039	2	ーエルボ
15	P2H402412	2	ースピードコントローラ	57	P2H402040	1	ーロングエルボ
16	P2H402404	1	ーサイレンサ	58	LHP001525	1	ーホルダ
17	P2H402403	1	ーT	59	P2H402041	1	ーブッシュ
18	P2H402415	1	ーチューブ	60	KA00910616	2	ー六角穴付きボルト
19	P2H402416	1	ーチューブ	61	KA60401000	1	ースラストベアリング
20	P2H402417	1	ーチューブ	62	KA30221000	1	ー平座金
21	P2H402418	1	ーチューブ	-	LHP002142	1	ーアイフック
22	P2H402419	1	ーチューブ	63	—	1	ーーアイナット
23	P2H402421	2	ーチューブ	64	—	1	ーー六角ボルト
24	P2H402422	1	ーチューブ	65	—	1	ーースプリングピン
25	KA31120600	4	ーバネ座金	66	P2H401216	1	ーホルダ
26	KA00910610	4	ー六角穴付ボルト	67	KA16510506	2	ー六角穴付止ネジ
27	P2H301172	1	ーカバー	—	LHP001683	1	フック1式
28	KA30220500	4	ー平座金	—	LHP000843	1	ーフック1式
29	KA31120500	4	ーバネ座金	68	—	1	ーーフック
30	KA10120514	4	ー十字穴付ナベ小ネジ	—	LHP001674	1	ーー外レ止メ1式
31	P2H402428	1	ーラベル（DOWN）	69	—	1	ーーー外レ止メ
32	P2H402429	1	ーラベル（UP）	70	—	1	ーーースプリング
33	P2H402032	3	エルボ	71	—	1	ーーー丸リベット
34	P2H402668	1	チューブ	72	—	1	ーーナット
35	P2H402669	1	チューブ	73	KA42419820	1	ーースプリングピン
36	P2H402670	1	チューブ	74	P2H401216	1	ーフックホルダ
37	P2H402671	3	ストレート	75	KA60401000	1	ースラストベアリング
38	LHP002145	1	コイルホース1式	76	P2H301286	1	ネームプレート
39	P2H400465	2	結束バンド	—	LHP002144	1	ホルダ
—	LHP002143	1	ハンドル部1式	77	—	1	ーパイプ
—	LHP001819	2	ーハンドル部1式	78	—	1	ープレート
40	P2H100071	1	ーーバルブハウジング	79	—	1	ーカラー
41	LHP001526	1	ーープッシュボタンセット	80	P2H402041	1	ブッシュ

Copied digital data from https://www.endo-kogyo.co.jp/

● 印のついている部品は、消耗品を示します。
部品番号のない部品は、個々に供給することはできません。

■MS－ATC



YHM000748a

Copied digital data from https://www.eurokog.org.jp /

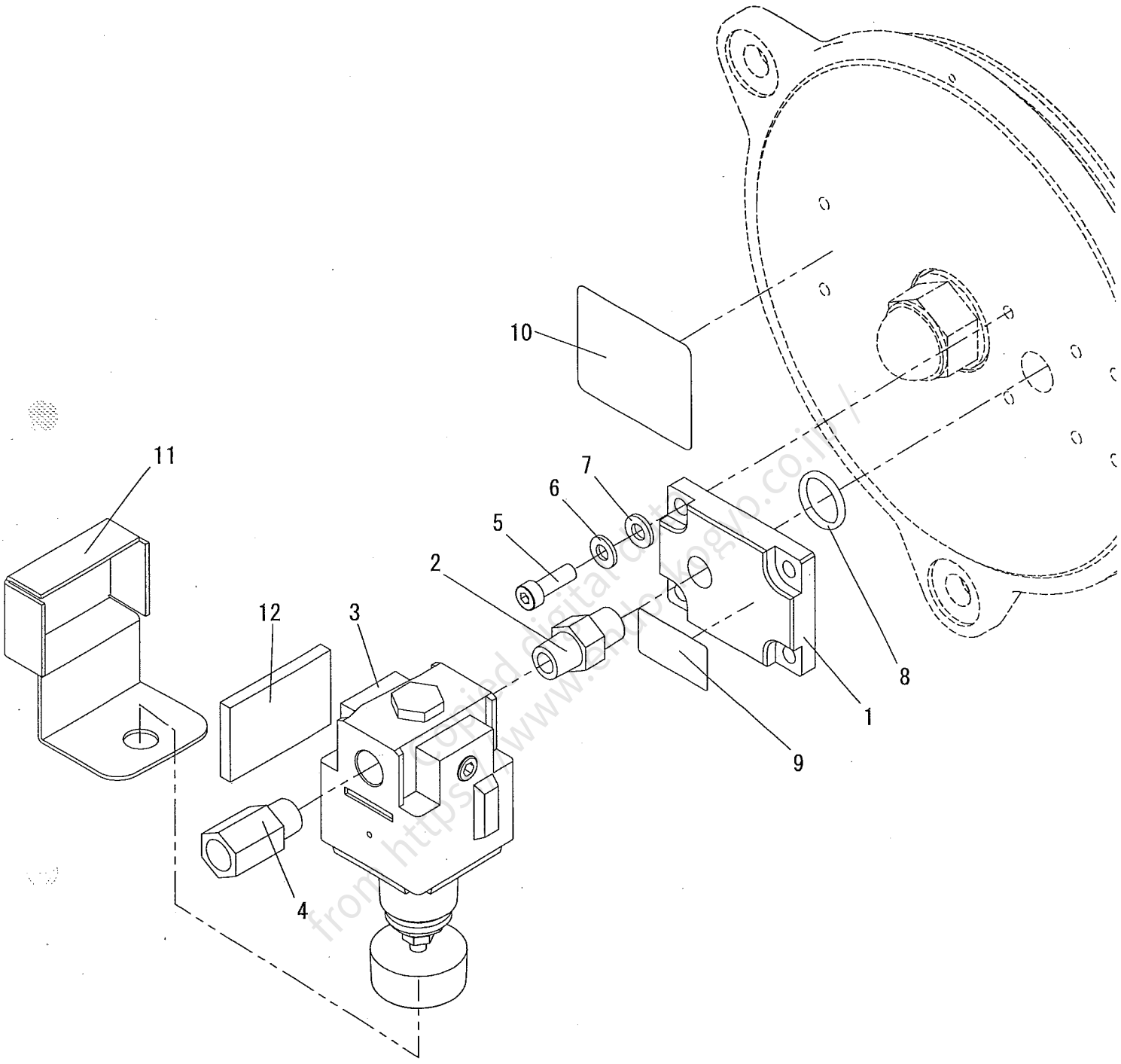
■部品表　ＢＣ１

照合番号	部品番号	個数	部品名称	照合番号	部品番号	個数	部品名称
1	P2H301236	1	マニホールド				
2	P2H402543	1	ニップル				
3	P2H402544	1	レギュレータ				
4	P2H402545	1	チェックバルブ				
5	KA00910618	4	六角穴付ボルト				
6	KA31120600	4	バネ座金				
7	KA30220600	4	平座金				
● 8	KA50100180	1	Oリング				
9	P2H301237	1	ネームプレート				
10	P2H301246	1	ラベル				
11	P2H301366	1	ブラケット				
12	P2H402894	3	サイレンサ				

● 印のついている部品は、消耗品を示します。

Copied digital data from https://www.endo-kogyo.co.jp/

■BC1



YHM000726b

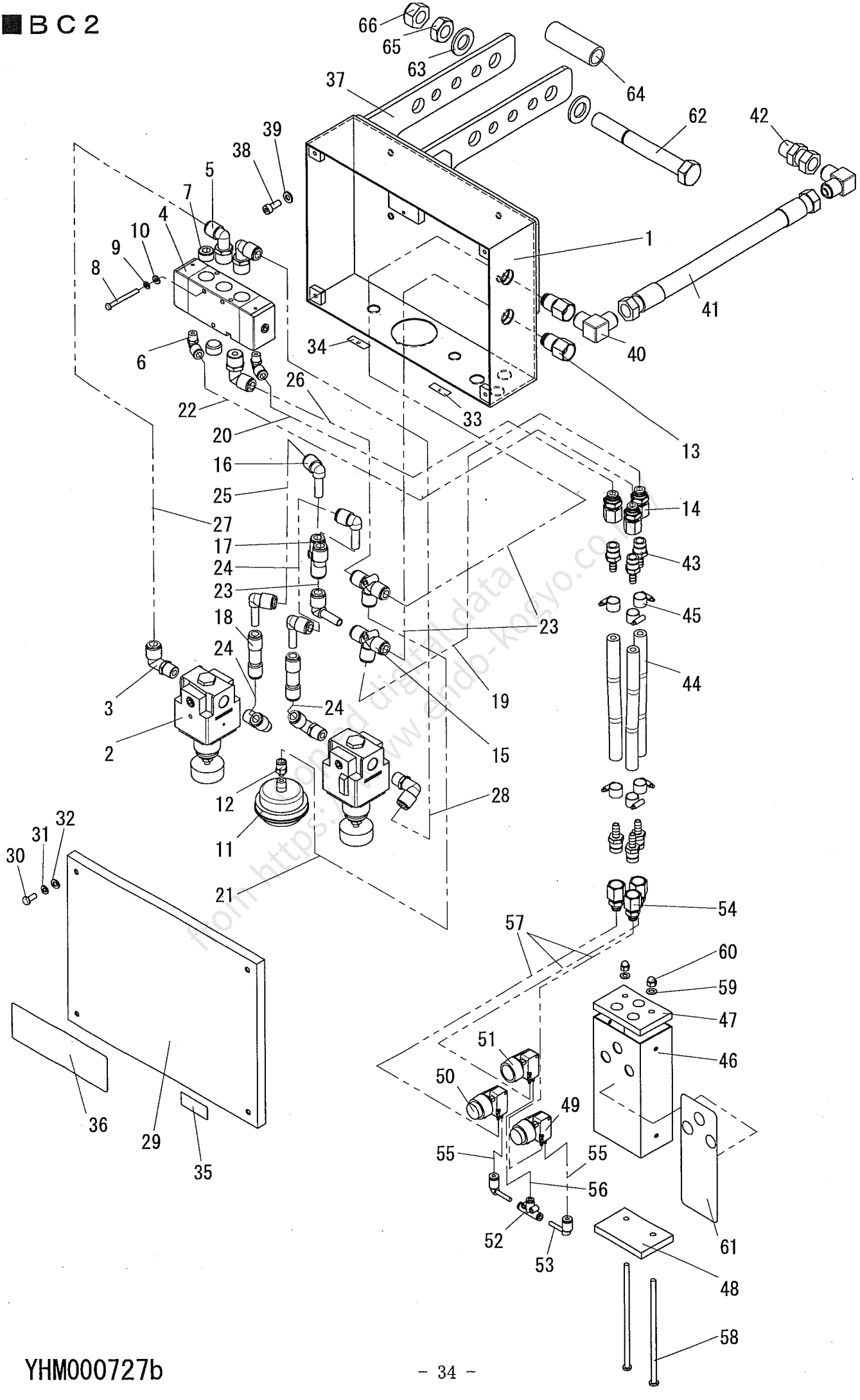
■部品表　ＢＣ２

照合番号	部品番号	個数	部品名称	照合番号	部品番号	個数	部品名称
―	LHP002124	1	制御ボックス	37	LHP002126	1	ブラケット
1	LHP002125	1	―ケース	※1 37	LHP002284	1	ブラケット
2	P2H402544	2	―レギュレータ	※2 37	LHP002135	1	ブラケット
3	P2H402406	4	―エルボ	※3 37	LHP002703	1	ブラケット
4	P2H301279	1	―オペレートバルブ	38	KA00910614	4	六角穴付ボルト
5	P2H402407	3	―エルボ	39	KA31120600	4	バネ座金
6	P2H402627	2	―エルボ	40	P2H402461	2	アダプタ
7	P2H400137	2	―六角穴付テーパプラグ	41	P2H301191	1	ホース
8	KA10120440	3	―十字穴付ナベ小ネジ	42	P2H402460	1	アダプタ
9	KA31120400	3	―バネ座金	43	P1R400322	3	ホースニップル
10	KA30220400	3	―平座金	44	P2H402372	3	ホース
11	P2H402624	1	―圧力計	45	KA86100120	6	ホースクリップ
12	P2H402629	1	―ユニオン	―	LHP002122	1	ペンダントスイッチ1式
13	P2H402411	2	―ユニオン	46	P2H301272	1	―ケース
14	P2H402410	3	―ユニオン	47	P2H301274	1	―キャップ
15	P2H402403	2	―T	48	P2H301275	1	―キャップ
16	P2H402408	5	―エルボ	49	P2H402613	1	―ボタン(赤)
17	P2H402626	1	―ユニオン	50	P2H402614	1	―ボタン(緑)
18	P2H402625	2	―チェックバルブ	51	P2H402615	1	―ボタン(黒)
19	P2H402463	1	―チューブ	52	P2H402616	1	―T
20	P2H402630	1	―チューブ	53	P2H402617	2	―エルボ
21	P2H402631	1	―チューブ	54	P2H402621	3	―ユニオン
22	P2H402632	1	―チューブ	55	P2H402618	2	―チューブ
23	P2H402633	3	―チューブ	56	P2H402619	1	―チューブ
24	P2H402634	3	―チューブ	57	P2H402620	3	―チューブ
25	P2H402464	1	―チューブ	58	P2H402622	2	―十字穴付ナベ小ネジ
26	P2H402635	1	―チューブ	59	KA30220500	2	―平座金
27	P2H402419	1	―チューブ	60	KA25720502	2	―Uナット
28	P2H402636	1	―チューブ	61	P2H301276	1	―警告ラベル
29	P2H301278	1	―カバー	62	KA00171667	1	六角ボルト
30	KA10120512	4	―十字穴付ナベ小ネジ	※3 62	KA00171669	1	六角ボルト
31	KA31120500	4	―バネ座金	63	KA30221600	2	平座金
32	KA30220500	4	―平座金	64	P2H402475	1	パイプ
33	P2H402637	1	―ラベル	65	KA20321600	1	六角ナット
34	P2H402638	1	―ラベル	66	KA25521601	1	Uナット
35	P2H301280	1	―ネームプレート				
36	P2H300777	1	―社名板				

※1印の部品は、本体がEHB-50S、EHB-50SCの場合に使用する。
※2印の部品は、本体がEHB-130、EHB-130Cの場合に使用する。
※3印の部品は、本体がEHB-270CRの場合に使用する。

Copied digital data from https://www.ende-log.co.jp/

■BC2



Copied digital data from https://www.endo-kogyo.co.jp

YHM000727b

Copied digital data
from https://www.endo-kogyo.co.jp /

ENDO 遠藤工業株式会社

〒959-1261　新潟県燕市秋葉町 3 丁目 14 番 7 号
TEL:0256-62-5133　FAX:0256-62-5772
https://www.endo-kogyo.co.jp

事業所情報につきましては、
二次元バーコードよりご確認ください。

ENDO ENDO KOGYO CO., LTD.

3-14-7, Akiba cho, Tsubame, Niigata 959-1261, Japan
https://www.endo-kogyo.co.jp/english TEL: 81-256-62-5133

- 本書ならびに本商品の仕様は改善のために予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の無断転載を禁止します。
- This manual and the specifications of this product are subject to change for improvement without advance notice.
- It is strictly prohibited to reprint or copy any information contained in this manual.